

## 令和 7 年度第 4 回 足立区在宅療養推進協議会 次第

1 開会挨拶 足立区在宅療養推進協議会 有野 亨 会長

### 2 案件

- (1) 令和 7 年度地域ケア会議開催報告・意見交換 【別添】
- (2) 令和 8 年度 医療介護連携推進事業について
- ① 令和 8 年度の事業計画案（案）について 【資料 1】
  - ② 多職種連携研修会開催予定について 【資料 2】
  - ③ 医療介護スキルアップ研修（案）について 【資料 3】
  - ④ 入退院支援相談員交流会（案）について 【資料 4】
  - ⑤ MCS の普及啓発（案）について 【資料 5】
  - ⑥ 在宅療養普及啓発紙について 【資料 6】
  - ⑦ 在宅療養区民啓発講座（案）について 【資料 7】

### 3 報告

- (1) 医療介護連携ネットワークについて 【資料 8】
- (2) 介護新たな担い手確保（スポットワーク・外国人）セミナーについて 【資料 9】
- (3) 窓口チラシのリニューアルについて 【別添】

### 4 事務連絡

令和 8 年度 足立区多職種連携研修会に係る世話人の選出について 【資料 10】

### 5 各団体からの情報共有について

### 6 令和 8 年度第 1 回足立区在宅療養推進協議会の開催について

- (1) 開催場所  
すこやかプラザ あだち
- (2) 開催候補日時  
令和 8 年 4 月 第 1 候補 22 日(水) 第 2 候補 27 日(月) 19 時～
- (3) 内容
- ア 在宅療養の推進について
  - イ MCS の活用促進について
  - ウ 各職種・団体の課題共有について など

# 地域ケア会議から見える 足立区地域課題について

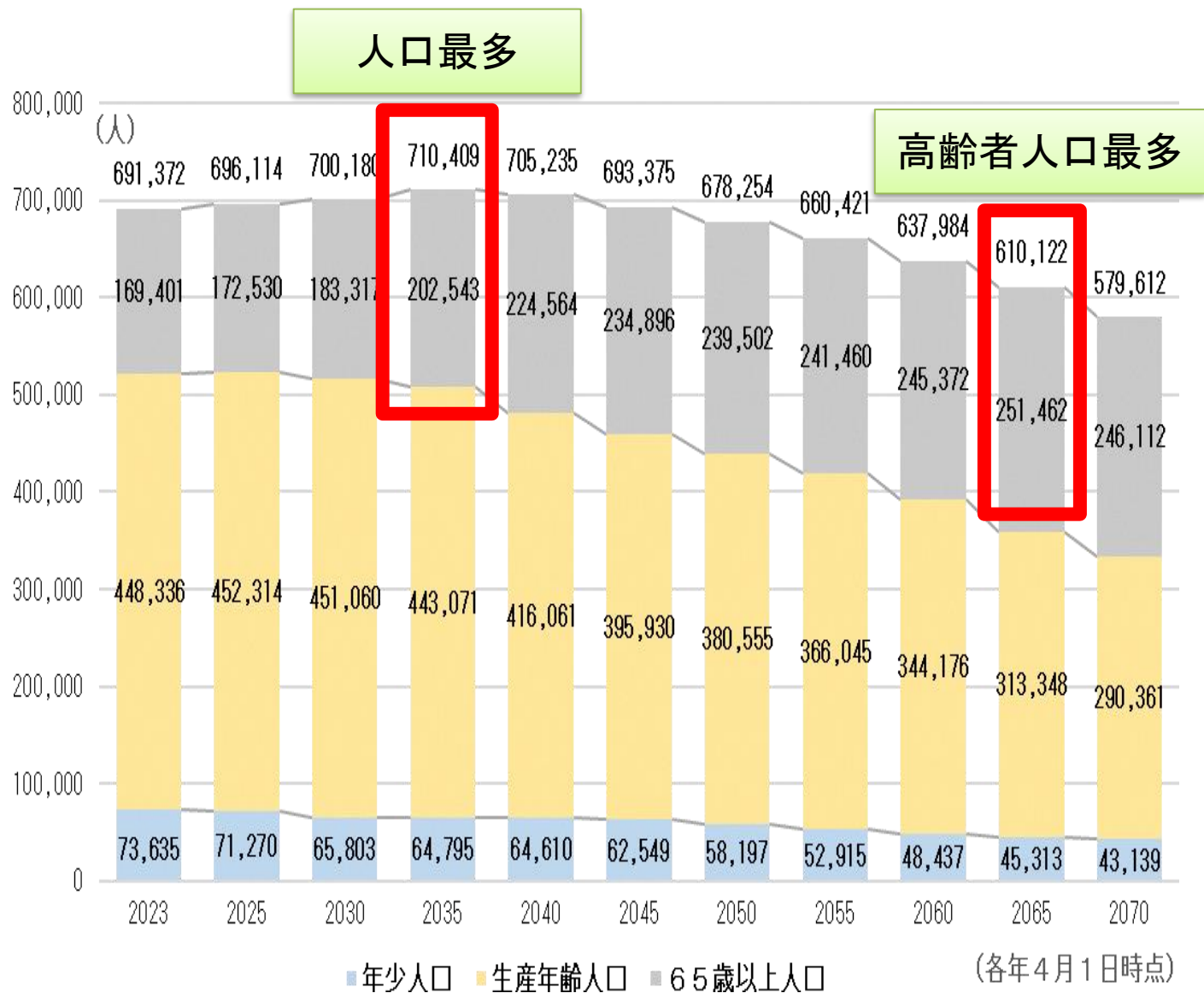
令和8年2月9日(月)

地域ケア会議 課題検討会

代表発表者：地域包括支援センター 千住西 (青木)  
地域包括支援センター 千寿の郷 (宮廣)



# 足立区の高齢化率 **23.88%** 東京23区中 **2位** (令和7年4月現在)



## <足立区総人口>

2035年頃 71万人

10万人【減少】

2065年頃 61万人

## <足立区高齢者数>

2035年頃 20万人

5万人【増加】

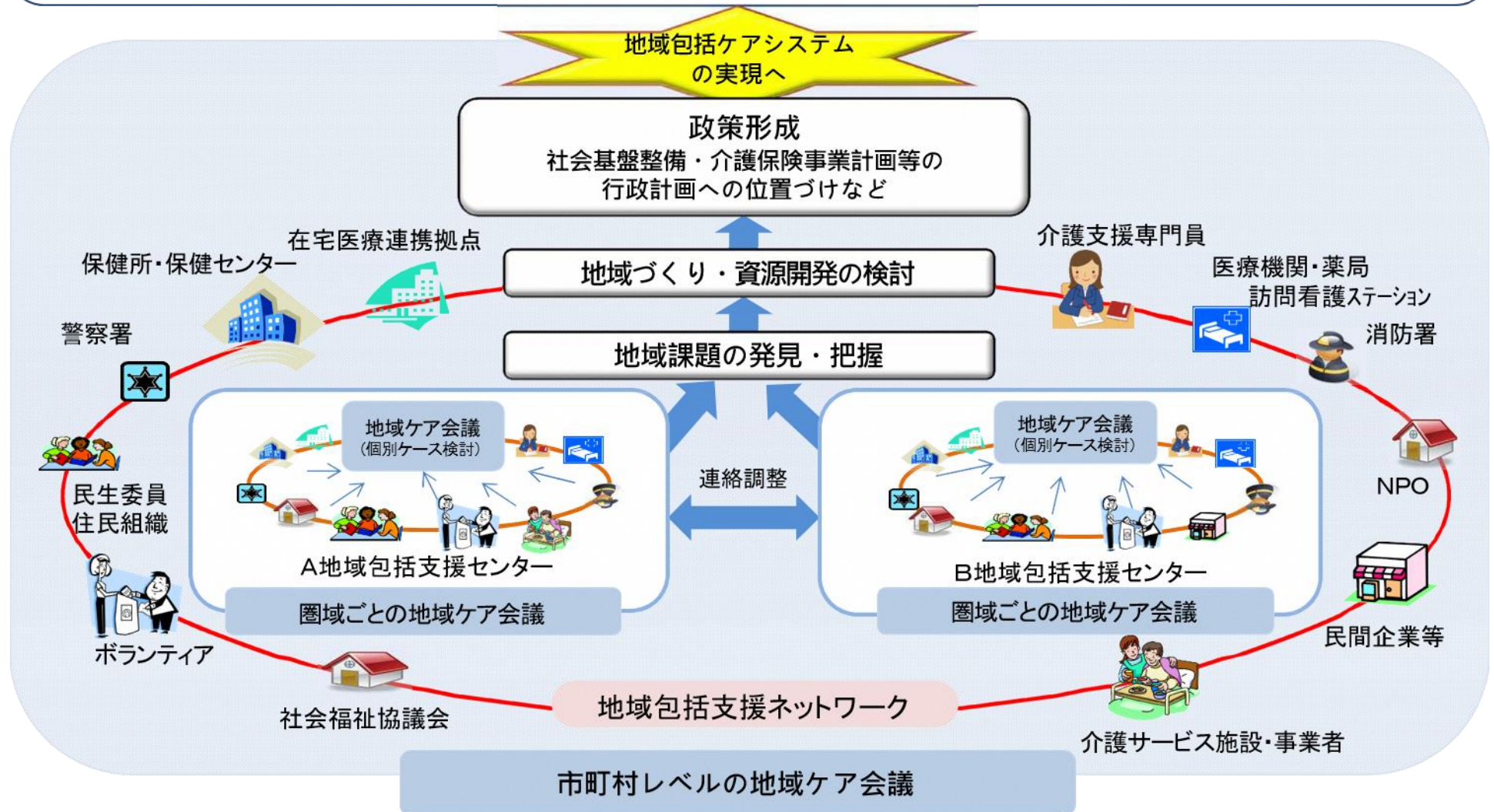
2065年頃 25万人

高齢化率28%

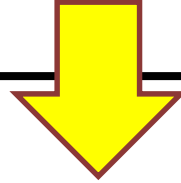
高齢化率41%

# 「地域ケア会議」を活用した 個別課題解決から地域包括ケアシステム実現までのイメージ

- 地域包括支援センター(又は市町村)は、多職種協働による個別ケースのケアマネジメント支援のための実務者レベルの地域ケア会議を開催するとともに、必要に応じて、そこで蓄積された最適な手法や地域課題を関係者と共有するための地域ケア会議を開催する。
- 市町村は、地域包括支援センター等で把握された有効な支援方法を普遍化し、地域課題を解決していくために、代表者レベルの地域ケア会議を開催する。ここでは、需要に見合ったサービス資源の開発を行うとともに、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを連結させて、地域包括ケアの社会基盤整備を行う。
- 市町村は、これらを社会資源として介護保険事業計画に位置づけ、PDCAサイクルによって地域包括ケアシステムの実現へとつなげる。



# なぜ地域ケア会議からあがる地域課題を 解決する必要があるのか？



- ① 現場の「困りごと」が集約されている
- ② 個別課題を放置すると地域全体の問題に拡大する  
【8050問題、独居高齢者、認知症、介護離職】
- ③ 支援の隙間・制度の限界を補うため  
【制度だけでは対応できないケースが増加】  
→ 多職種・地域資源の連携が不可欠
- ④ **住み慣れた地域で暮らし続ける環境を整備するため**
- ⑤ 支援者・住民双方の安心につながる  
地域全体の環境が整備され、周囲の理解があれば  
在宅生活が続けられる。

# 地域ケア会議 課題検討会

## 【メンバー】

- ・基幹地域包括支援センター 西部(事務局)
- ・基幹地域包括支援センター 東部
- ・5ブロックの各代表2名(計10名)
- ・区(医療介護連携課)

## 【開催頻度】

1回／2か月

## 【概要】

- ・地域ケア会議の実施状況の共有
- ・施策方針の検討 等

## テーマ別課題の整理（令和4年～令和6年）

	令和6年	令和5年	令和4年
1	身よりなし	認知症	認知症
2	サービス拒否	ひきこもり・孤立	ひきこもり・孤立
3	精神疾患	金銭管理	精神疾患
4	金銭管理	精神疾患	身寄りなし
5	認知症	身寄りなし	近隣トラブル
6	ひきこもり・孤立	生活困窮	サービス拒否
7	ゴミ屋敷	介護予防	ゴミ屋敷
8	生活困窮	サービス拒否	災害弱者



過去3年間の課題から、令和7年度の推奨テーマを決定  
**推奨テーマ「身寄りなし・孤立・生活支障」**

# 地域ケア会議における中心課題 (地域包括支援センターの視点から)

令和7年度の29事例を分析



3大課題

「認知症」 「精神疾患」 「孤立」

# 認知症

## 地域課題

### 【認知症を正しく知る機会が少ない】

- ➡ 誤解や不安など、認知症の理解が不足
- ➡ 家族関係や地域との関係が希薄になっているため、必要な情報が届かない

### 【地域からの孤立】

- ➡ 当事者が打ち明けることができず抱えこむ
- ➡ できること・得意なことがあっても活躍できる・働く場が地域にない

## 課題解決に向けて

### 【多世代へのアプローチが必要】

- ➡ こどもや若い世代が自然に学べる仕組み  
例) 小・中学校での教育プログラムの導入
- ➡ 認知症サポーターの増加  
例) 行政から企業への働きかけ  
インセンティブの導入

### 【認知症であっても就労・社会参加しやすい仕組みづくり】

- ➡ 認知症の人が関われる仕事づくりへの支援  
例) 障がい者雇用をモデルとした認知症雇用  
企業の社会貢献としての就労機会の確保
- ➡ 当事者をサポートするボランティアやコーディネートする仕組み

# 精神疾患

## 地域課題

【精神疾患にも対応できる仕組みが不十分】

- ➡ 高齢化した精神疾患患者の増加
- ➡ ホウカツは精神保健領域とのネットワークが脆弱

## 課題解決に向けて

【チームケアの仕組みづくり】

- ➡ 保健・医療・福祉の連携強化
- ➡ 精神疾患を抱える高齢者の包括的な支援体制

# 孤立

## 地域課題

【地域交流の希薄化 ➡ ひきこもり】

【転居支援】

【未受診】

シャドー  
ワーク

## 課題解決に向けて

- 【複雑多様化した問題を抱える家族を孤立させないための早期発見・早期対応】
- 【高齢者向け物件探しから転居、転居後までのトータルサポートの仕組みの強化】
- 【受診しやすい多様な仕組みづくり】

# シャドローワーク(例)

- 公共料金の支払い等の支援
- 介護保険以外の書類(給付金申請等)

の記入の支援

- 郵便物管理
- 金銭管理
- 救急車の同行を求められる など

# 多職種の皆さまにご意見いただきたい項目

## 1 精神疾患について

- ① 不定期受診、未受診への対応について、どのような対策が考えられるでしょうか。
- ② 精神疾患を患っている方、もしくは利用者・患者の家族が精神疾患を患っている場合の支援について、チームでの対応をメインにうまくいった事例、困難だった事例があればお教えてください。

## 2 孤立について

- ① 身寄りなし高齢者の転居支援がシャドーワークになってるようです。現場の負担を減らし、且つ高齢者の生活を守るためには、どんな仕組みが必要だと思いますか。

## 3 認知症の理解や活躍の場

- ① 学校や企業など、医療・介護分野以外の主体にも認知症に関する研修を広めていくために、どのようなアプローチが必要だと考えますか。
- ② 高齢者の就労が増える中で、職場における認知症への理解を深め、働き続けやすい環境を整えるために必要だと思う取り組みは何ですか。

# 認知症サポーター養成講座とは



- 認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する講座です。90分の講座で「認知症の症状」や「認知症の方への接し方」など認知症に対する正しい知識や理解を深めていきます。
- 認知症サポーターを増やし、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを、みんなで作っていくことを目的としています。

## 認知症サポーター養成講座内容

- 第1章 わがこととして考えてみよう
- 第2章 認知症とともに  
～当事者から認知症サポーターの皆さんへ今伝えたいこと～
- 第3章 認知症を理解する  
～認知症の症状、経過、早期受診のすすめ～
- その他 相談先 頼りになるところ 生活を支える制度

受講後には認知症サポーターの証として「オレンジリング」をお渡しします。



ステップアップ講座

## チームオレンジ

地域の認知症サポーターなどがチームを組み、認知症の本人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み

## ★ 足立区の認知症サポーターの現状

### 【実績数】

令和5年度 2,296人  
令和6年度 2,724人（累計38,976人）

### 【傾向】

- (1) 23区平均より少ない
- (2) 20代～60代が少なく、10代、70代が多い
- (3) 全国平均と比較して企業・団体での開催が少ない

## ★ これまでの取組

- (1) 各ブロックで1企業選定し、認知症地域支援推進員と講座の実施を勧めた。
- (2) 講座を実施した企業に対して「認知症サポーターがいる」ことを知らせるステッカーの配付した

## ★ 今後の方針

- (1) 講座を実施した企業にステッカーを渡し、足立区HPに掲載する。
- (2) 理解度を把握するための統一したアンケートを実施する。

## 足立区認知症とともにいつまでもこのまちで条例（案）

**目指す姿** 認知症になっても「やりたいこと」を諦めず安心して住み続けられるまち

	内容	令和8年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①	在宅療養推進協議会の開催	●第1回		●第2回				●第3回			●第4回		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>年間研修計画の策定</li> <li>MCS活用方針の策定</li> <li>区民啓発講座の開催</li> <li>在宅療養啓発紙の発行</li> <li>在宅療養4つの場面ごとの課題解決に向けた検討</li> </ul>											
②	在宅療養支援窓口業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹ホウカツ、ホウカツとの連携</li> <li>ブロックごとのアウトリーチによる課題の整理</li> <li>窓口周知チラシを活用した周知強化</li> </ul>											
③	多職種連携研修会 (区内5ブロックで実施) ※各ブロック60~80人参加	●5/27 東部		●6/17 中部		●7/23 北部		●8/19 西部		●9/10 千住		●12/10 全体交流会	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロックごとの地域課題解決に向けたテーマ設定</li> </ul>											
④	多職種連携世話人会 ※各ブロック12名	●4/15 東部ブロック世話人会		●4/15 中部ブロック世話人会		●4/21 北部ブロック世話人会		●5/21 千住ブロック世話人会		●5/21 西部ブロック世話人会		●東部ブロック世話人会	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック研修の企画・運営</li> <li>地域課題の把握及び課題解決に向けた検討</li> </ul>											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●中部ブロック世話人会</li> <li>●北部ブロック世話人会</li> <li>●千住ブロック世話人会</li> <li>●西部ブロック世話人会</li> </ul>											
		WEBランチMT等（事例検討等）											
⑤	スキルアップ研修会 ※200人参加	●第1回				●第2回							
		各専門職の視点から											
⑥	大研修室の管理	予約システムの運用と研修室管理の改善						<ul style="list-style-type: none"> <li>研修情報の集約</li> <li>研修室の活用促進</li> <li>研修室利用Q&amp;A作成</li> </ul>					
⑦	MCSの普及啓発 ※メディカルケアステーション (医療介護連携ツール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>出張研修会の随時開催</li> <li>団体ごとのアプローチ</li> <li>利用に課題がある法人へ説明</li> <li>病院へのアプローチ（看護管理者、相談員）</li> </ul>											
⑧	「医療と介護の連携・研修センター」ホームページの運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの更新</li> <li>⇒ ① 各団体への掲載情報ヒアリング ② ホウカツ主催の研修情報等を掲載</li> </ul>											
⑨	ホウカツ主催の医療介護連携事業	●ホウカツ主催の勉強会・交流会等の開催											
⑩	人生いきいき会議	各ブロックで開催						開催方法の簡易化					
		専門職出席の調整											
⑪	地域ケア会議	地域ケア会議で抽出された課題を多職種へ展開											
		各ホウカツ年1回以上開催						地域課題の集約					
⑫	休日在宅当番医制度・24時間往診体制の構築	足立区医師会による休日在宅当番医制度の実施											
		在宅療養に積極的な役割を担う医療機関との連携											
⑬	区民啓発事業の実施 (講座・啓発紙)	●区民啓発講座						●区民啓発講座					
		在宅療養啓発紙の協議会PTIによる企画・作成⇒1月発行											
⑭	入退院相談員交流会 ※40人参加 (区内医療機関)	●第1回		●第2回				●第3回			●第4回		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療機関の情報共有</li> <li>② 病院相談室の機能周知</li> <li>③ 医療介護関係者の参加</li> </ul>											

## 令和7年度 足立区多職種連携研修会実施結果

	日時	場所	参加機関・人数	テーマ・研修内容	グループワークの内容	アンケート結果・ブロック内の取組
第1回 (北部ブロック)	令和7年 6月27日(金) 19時～21時	竹の塚地域 学習センター レクリエーシ ョンホール	・医師会(7名)・歯科医師会(1名) ・薬剤師会(6名)・地域包括(13名) ・栄養士会(1名) ・介護事業者連絡協議会(15名) ・POS(7名)・柔道整復師会(0名) ・多機能サービス連絡会(1名) ・足立区福祉事務所(2名)・栄養施策(1名) <b>合計54名</b>	「伝えたいけど伝えられない 現場 のもどかしさに向き合う～個人情報 のトリセツ～」 個人情報について講義・グループ ワーク 講師：基幹地域包括支援センター 安田 雅俊氏	① 自己紹介 ② 講義を聞いての感想 ③ 事例検討(2事例) 事例1は奇数グループ 事例2は偶数グループ	【感想・自由意見】 ・正解があるのか、難しいテーマだが、いろ いろな人から話が聞けて良かった。 ・個人情報について、とても勉強になった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT(世話人からの情報発信)
第2回 (千住ブロック)	令和7年 7月17日(木) 19時～21時	足立区生涯学 習センター 4階講堂	・医師会(3名)・歯科医師会(1名) ・薬剤師会(4名)・地域包括(22名) ・栄養士会(1名) ・介護事業者連絡協議会(17名) ・POS(5名)・柔道整復師会(2名) ・多機能サービス連絡会(1名) ・足立区福祉事務所(3名)その他(1名) <b>合計60名</b>	「あなたならどうする～千住ひとり 暮らし編～」 千住の現状について講義・グループ ワーク 講師：地域包括支援センター日の出 因田 貴則氏	① 自己紹介 ② 事例検討(4事例) ③ 千住ひとり暮らしの方が備えてお くと良いこと(グループワーク)	【感想・自由意見】 ・現場につながる実例や考え方、視点などが 得られた。 ・息つく暇もない2時間で、退屈せず勉強に なった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT「各職種からみた千住のまち」
第3回 (東部ブロック)	令和7年 8月20日(水) 19時～21時	勤労福祉会館 2階ホール	・医師会(5名)・歯科医師会(1名) ・薬剤師会(1名)・地域包括(14名) ・栄養士会(1名) ・介護事業者連絡協議会(36名) ・POS(2名)・柔道整復師会(1名) ・多機能サービス連絡会(1名) ・福祉事務所(2名)・その他(2) <b>合計66名</b>	「古い支度を考えよう～多職種で できること～」 ACPについて講義・グループワーク 講師：のぞみ在宅クリニック 川田 悠氏	① 自己紹介 ② 講義の感想 ③ じぶんノートを書いてみよう ④ じぶんノートの活用について ⑤ 質疑応答	【感想・自由意見】 ・じぶんノートを勧める側も、ACPについ て理解しておく必要があると感じた。 ・古い支度について、改めて考える良い機会 になった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT ・かけはしの会
第4回 (西部ブロック)	令和7年 9月26日(金) 19時～21時	すこやかプラ ザ あだち 大研修室	・医師会(4名)・歯科医師会(1名) ・薬剤師会(11名)・地域包括(24名) ・栄養士会(1名) ・介護事業者連絡協議会(16名) ・POS(1名)・柔道整復師会(1名) ・多機能サービス連絡会(5名) ・福祉事務所(3名)その他(1名) <b>合計68名</b>	「もしも介護サービスがなかったら ～社会的処方2025～」 社会的処方について講義・グループ ワーク 講師：足立区社会福祉協議会 基幹地域包括支援センター東部 主査 鈴木 正文氏 主査 野口 弘美氏	① 自己紹介 ② 事例を通して社会的処方を考える ③ 地域福祉コーディネーターによる 総評	【感想・自由意見】 ・地域資源について、情報収集の仕方を学ぶ ことができた。 ・地域資源の活用をしていきたい。 【エリア勉強会・イベント】 ・ふれあい健康まつり ・ハウカツ版「多職種連携研修会」
第5回 (中部ブロック)	令和7年 10月29日(水) 19時～21時	梅田地域学習 センター 4階 レクホール	・医師会(2名)・歯科医師会(1名) ・薬剤師会(11名)・地域包括(19名) ・栄養士会(1名) ・介護事業者連絡協議会(6名) ・POS(9名)・柔道整復師会(2名) ・多機能サービス連絡会(1名) ・福祉事務所(5名)・その他(5) <b>合計62名</b>	「ともに学ぶ認知症ケア～事例から 学ぶ多職種連携のヒント」 足立区の認知症施策について講義・ グループワーク 講師： 足立区高齢者地域包括ケア推進課認 知症施策推進担当 佃 美幸氏	① 自己紹介 ② 事例検討(4事例) ③ 振り返りグループワーク 「どんな気づきがあったか」	【感想・自由意見】 ・病院勤務のため、今自分ができることを改 めて考えるきっかけになった。 ・どの事例も直面したことのあるケースで、 他の職種の方の意見が聞けて参考になった。 【エリア勉強会・イベント】 ・ランチMT「各職種からみた認知症」

5ブロック合計 310名参加 (参考：令和6年度315名参加)

## 令和 8 年度 多職種連携研修会 研修テーマの検討結果について

	北部	千住	東部	西部	中部
世話人会 日付	4/21(火)	5/21(木)	4/15(水)	5/21(木)	4/15(水)
世話人会 場所	竹の塚地域学習センター 第1学習室	生涯学習センター 研修室	勤労福祉会館 第3洋室	すこやかプラザ あだち 大研修室	梅田地域学習センター 学習室
研修会 日付	7/23(木)	9/10(木)	5/27(水)	8/19(水)	6/17(水)
研修会 場所	西新井住区センター 大広間	生涯学習センター 講堂	勤労福祉会館 第1ホール	すこやかプラザ あだち 大研修室	梅田地域学習センター レクホール
研修テーマ	情報共有ツールの深堀り	医療と介護 ～お金の話～	医療・介護現場を守る カスハラ対応	医療と介護のちょっといい関係	障がいのサービス
研修概要 (案) (キーワード 他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マイナンバーカードで共有 できること。</li> <li>○ ケアプランについて理解を 深める</li> <li>○ お薬手帳の活用について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際に医療と介護でどの くらいの費用がかかるのか (専門職が各自情報を整理)</li> <li>○ グループワークで事例検討 しシミュレーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部講師に依頼</li> <li>○ グループワークで事例を 共有し、対応策を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講師：女子医大 入退院機能の講義</li> <li>○ 西部エリア病院相談員が参 加し事例検討しながらお互 いの業務について理解を深 め、連携方法を探る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講師：あしすと</li> <li>○ 65歳未満障がい者のつなぎ 先はどこか</li> <li>○ 明らかに障がいがあっても 医療にも介護にもつながっ ていない方のつなぎ先</li> <li>○ 障がい福祉との関わり</li> </ul>

## 令和 8 年度 医療介護スキルアップ研修（案）について

## 1 令和 7 年度医療介護スキルアップ研修開催結果

## (1) 第 1 回開催概要

開催日時	令和 7 年 7 月 2 6 日（土） 1 4 時～1 6 時
開催場所	すこやかプラザ あだち 3 階 大研修室
講義内容	第一部 基調講演 「睡眠の謎に挑む～健やかな睡眠から始まるウェルネス～」 筑波大学 国際統合睡眠科学研究機構 機構長 柳沢正史氏 第二部 シンポジウム 「医療・介護業界を取り巻く睡眠と健康」

## (2) 第 2 回開催概要

開催日時	令和 7 年 1 1 月 2 7 日（木） 1 9 時～2 1 時
開催場所	すこやかプラザ あだち 3 階 大研修室
講義内容	本人中心でともに作るケアに向けて ～社会的処方と可能性指向を手がかりに～  慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授 一般社団法人 人とまちづくり研究所代表理事 堀田 聡子氏 株式会社 studio-L 東京事務所代表 一般社団法人 人とまちづくり研究所理事 西上 ありさ氏

## (3) 参加人数

団体名	参加人数 (第 1 回)	参加人数 (第 2 回)	合計
足立区医師会	2 1	1 0	3 1
東京都足立区歯科医師会	4	2	6
足立区薬剤師会	9	4	1 3
足立区介護サービス事業者連絡会	4 4	1 8	6 2
東京都柔道整復師会足立支部	4	4	8
あだち POS ネットワーク	6	6	1 2
東京都栄養士会足立支部	3	3	6
足立区多機能サービス連絡会	1	1	2
地域包括支援センター	6 7	7 5	1 4 2
その他	4	2 3	2 7
オンライン聴講	4	—	4
合計	1 6 7	1 4 6	3 1 3

## 2 令和8年度医療介護スキルアップ研修開催予定

### (1) 開催候補日

- ① 第1回 令和8年 6月11日(木) または 6月25日(木)
- ② 第2回 令和8年 11月16日(月) または 11月26日(木)

### (2) 開催場所

すこやかプラザ あだち 3階 大研修室

### (3) 研修テーマ(案)

「専門職がそれぞれの視点から多職種にとって有益な情報等を共有する」

- ① 高齢者の精神疾患とその対応
- ② 高齢者救急について(救急の実態)
- ③ 連携のための「コミュニケーション」
- ④ 認知症のある人の意思決定支援
- ⑤ フレイル予防・アンチエイジング

### (4) 開催形式(案)

- ① 第一部 講義 第二部 シンポジウム
- ② 第一部 講義 第二部 ペアワーク

# 入退院支援相談員交流会（案）について

資料 4

## 1 令和7年度入退院支援相談員交流会開催結果

### (1) 目的

区内在宅療養を支える病院同士の連携と地域の介護事業所との連携推進

### (2) 対象

区内有床病院

	日時	テーマ・内容	参加人数
第1回	5月15日	「日常の生活支援」の場面における課題の共有	30病院51名
第2回	9月11日	介護保険外サービスについて説明 「退院支援」における課題の共有	26病院43名
第3回	12月4日	在宅における「急変時」の課題共有	19病院30名
第4回	2月12日	ケアマネ、訪問看護師等との交流	

## 2 入退院支援相談員アドバイザー会議について

令和8年度入退院支援相談員交流会に向けて病院相談員からアドバイザーを6名選出。  
令和8年1月20日に打合せを行った。

### (1) テーマ・内容について

- ・ 介護施設等で実施しているサービスについて、把握できていない。デイサービスの一日のスケジュール、介護老人保健施設のリハビリプログラムや評価の仕方等聞きたい。
- ・ おひとりさま死後事務支援事業等、区や社協で行っている事業を知らなかった。公的事業についてもっと知りたい。
- ・ 有料老人ホーム等施設の斡旋業者等の実態について知りたい。
- ・ ホウカツが実際どんな仕事をしているか、説明を受けたい。
- ・ 地域の取り組み等も知りたい。
- ・ 在宅サービスの内容を知りたい。
- ・ 施設等の講義後に、講義の内容に則したグループディスカッションやワールドカフェ等を実施すれば、より意見も活発になると思う。
- ・ ケアマネジャーに参加してもらい事例検討を行う。

### (2) 開催の工夫

- ・ ケアマネとの意見交換が出来ると良い。
- ・ 年4回開催するのであれば、シリーズ化して毎回参加するように。
- ・ 事前に資料を配信し、考えを整理して会に参加できると良い。
- ・ 講義の部分をオンデマンド配信すれば、対面で参加できない方にも周知できる。

## 3 令和8年度入退院支援相談員交流会の開催について

令和7年度第4回開催時に上記意見を基にしたアンケートを実施したうえで、アドバイザー会議を開催し、令和8年度の実施内容を決定する。

## MCSの登録状況報告及び操作説明会の開催について

## 1 MCSの登録状況について

## (1) 令和7年12月末の登録状況

ユーザー総数（前月末）	投稿総数（前月末）	患者総数（前月末）
すべて 3,282 (3,221)	すべて 478,423 (459,034)	患者グループ総数 5,672 (5,500)
医療介護職 3,218 (3,157)	医療介護職 475,060 (455,790)	本人未参加 5,623 (5,451)
一般 64 (64)	一般 3,363 (3,244)	本人参加済 49 (49)

## (2) MCS登録数と利用率の推移

	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	令和7年12月
ユーザー数	792	1,157	1,650	2,521	3,282
ログイン数	416	557	950	1,582	2,030
ログイン率	52.5%	48.1%	57.6%	62.8%	61.9%

## 2 令和7年度MCS研修会について

開催日	内容	開催場所	参加人数
令和7年6月12日	第1回「初級編」	すこやかプラザ あだち	18名
令和7年9月18日	第2回「中級編」	すこやかプラザ あだち	21名
令和7年12月10日	第3回「初級編」	特養「はるかぜ」	10名
令和8年2月10日	第4回「初級編」	東和地域学習センター	—
令和7年12月10日	地域ケアネットワーク新田	新田地域学習センター	24名
令和7年12月22日	地域ケアネットワーク中央本町	中央本町地域学習センター	45名
令和8年3月	POSネットワーク登録説明会	すこやかプラザ あだち	—
合計			118名

### 3 令和8年度MCS研修会について

(1) 令和7年度MCS研修会の実施結果より見えた課題

- ① 普及が進んでおり、初級編研修に対するニーズが少なくなっている。
- ② ホウカツ等が実施する研修にMCSを盛り込むなど、MCS研修に対するニーズが多様化している。

(2) 令和8年度MCS研修会企画（案）

ニーズの減少と多様化によって、令和7年度まで実施していた医療介護連携課によるMCS単独の研修開催方法を変更する。

- ① 事業所や団体などの要望に応じ、出張でのMCS研修を実施する。
- ② 病院、特別養護老人ホーム、訪問介護等での普及をすすめるため、周知や活用依頼するなど、出張で実施できる旨も含めて周知していく。

# 「社会的」にも「個人的」にも在宅療養が求められています！

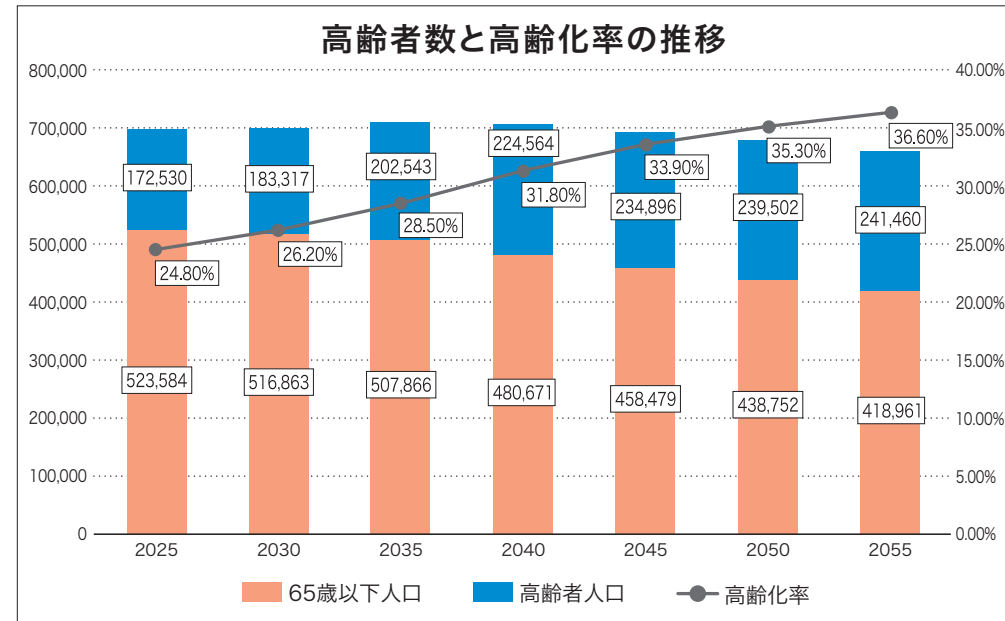
理由1

## 超高齢化社会到来。医療体制の維持が課題

足立区では2045年、約3人に1人が65歳以上となる超高齢化社会の到来が予想されています。

入院医療の需要が高まる一方、病床数には限りがあり、長期入院が難しくなるなど、必要な医療が受けられなくなる恐れも。

在宅療養という選択肢を広げることで、「地域の医療体制を守る」。それを実現していくのも在宅療養の使命です。



「足立区人口推計」中位推移より

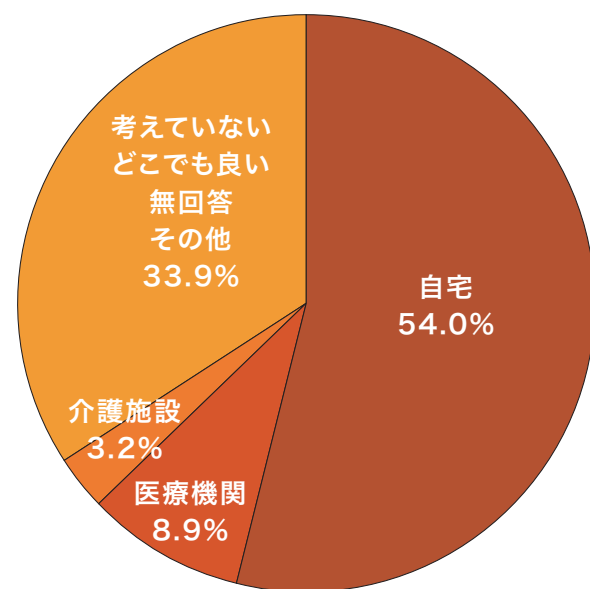
理由2

## 望みは「介護が必要になってもおうちで暮らしたい」

令和4年度に区が行った「足立区高齢者等実態調査」の結果では、要介護認定を受けている方の約2人に1人が、「人生の最期は施設や病院ではなく、自宅を迎えたい」と答えています。しかし実際は、亡くなる場所として最も多いのは病院で、願いと現実には大きなギャップがあります。

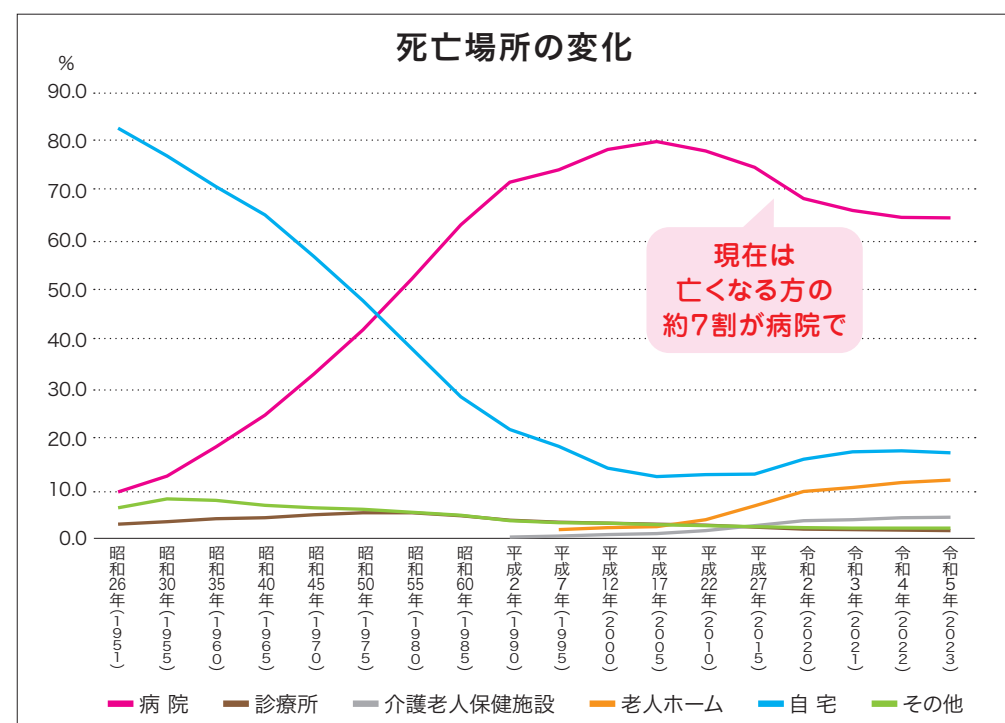
そのギャップを少しでも埋めるのが、自宅で医療や介護を受けながら過ごす「在宅療養」です。

### あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか



「足立区高齢者等実態調査報告書」より

### 死亡場所の変化



「厚生労働省・厚生統計要覧(令和6年度)」(各死亡数は全国における全年代の合計)より



在宅療養を支える医療・介護分野の従事者が、連携や知識を深めるため年間を通じて研修会・交流会を行っており、足立区のホームページでその様子をご覧ください。



足立区 在宅療養推進協議会  
足立区 医療介護連携課  
〒123-0872 足立区江北5-14-5  
すこやかプラザ あだち3階  
TEL.03-6807-1024 FAX.03-3899-1355

# 在宅療養をサポート

在宅療養あだち  
vol.1  
2026.1

# いつまでも おうちで 暮らす レシピ

自宅等で医療・介護サービスを受けながら暮らす“在宅療養”。自分らしい暮らしを続けるために、**あなただけのレシピ**を探してみませんか？在宅療養を支えるプロフェッショナルたちの活躍をご紹介します。



# わたしの暮らしレシピ

人生  
お腹いっぱい

いつまでもおうちで暮らすために、たくさんのプロフェッショナルたちがあなたを支えます。それぞれが話し合い、手を合わせ、一人ひとりの病気やけが、家庭の状況に合わせた**レシピ**を考え、サービスを提供します。医療・介護のプロフェッショナルたちが、あなただけの**オリジナルレシピ**をお届けします！

あなたの  
在宅療養レシピ  
のご相談は

地域包括支援センター（ホウカツ）へ  
区内に25か所ある高齢者の相談窓口です。  
担当地域のホウカツはコチラ



けがをしたけど、  
痛みをとって日常  
生活に戻りたい...



## 柔道整復師

冷却や固定で痛みを和らげ  
動きを改善します。

## 医師

痛み・けがの状態を  
確認し、薬、処置で  
痛みを抑え、回復  
を支えます。



年を重ねても  
好きなものを  
食べたい



## 歯科医師

入れ歯の調整などで噛む力  
を守り、食事を続けられるよう  
口の健康を支えます。

## 管理栄養士

栄養を考えた食事  
の提案で、無理なく  
好きなものを楽しめ  
るよう支援します。



病気やけがの後遺症があつ  
ても、食事や買い物など、  
できることを増やしたい



## ホームヘルパー

食事や買い物を支援し、日常生活の  
自立を促します。

## 管理栄養士

後遺症に合わせた調理方法や食事の  
提案で、無理なく健康を支えます。

## 訪問リハビリ専門職

身体の使い方のアドバイスや動作訓  
練により、出来ることを増やします。



最期まで  
自分の家で  
暮らしたい



## 医師

穏やかに療養できるよう、定期的な  
訪問で健康状態を管理します。

## 訪問看護師

医師と連携して健康  
状態を管理し、家族へ  
アドバイスをを行います。



薬の飲み忘れが増え  
てきて、どれが何の薬  
かわからない...



## ホームヘルパー

服薬の声かけや整理を手  
伝い、飲み忘れを防ぐ支援  
をします。

## 薬剤師

薬の目的を分かり  
やすく説明し、管理  
しやすい形に調整  
します。



介護と仕事の両立  
自分の時間も大切に  
したい



## ケアマネジャー

本人や家族の希望にあった  
サービスを提案し、両立し  
やすい環境をつくります。

## ホームヘルパー

入浴やおむつ交換等の身体  
介護を手伝い、介護者の時  
間を確保できるよう支援し  
ます。



## 柔道整復師

白川接骨院  
白川 純平院長



体の痛みや動きにくさを和らげる専門家です。打撲、捻挫、骨折、脱臼などに対して、体の自然な回復力を活かして治療します。

## かかりつけ医・訪問診療医

医療法人社団昭生会  
井上医院  
井上 泰介院長



自宅等で投薬や診療を行います。病院に行かなくても安心して医療が受けられるように支えています。

## 歯科医師

倉田歯科  
クリニック  
倉田 聡院長



自宅等で歯や歯ぐきの治療、入れ歯の調整、口腔ケアなど、口の健康を維持し「食べる」「話す」「笑う」といった日常の力を支えます。

## 管理栄養士

慈英会病院  
新井 千代子さん



食事を楽しみ、元気に過ごせるよう、体調や好み、生活に合わせて一人ひとりにあった栄養・食事を一緒に考えます。

## 訪問リハビリ専門職

(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

福寿会病院  
羽生 徹さん



「立つ・歩く」などの体の動きや、「食事や家事」などの生活の動作、「話す・飲み込む」などの機能を取り戻すためのリハビリを行います。

## ホームヘルパー

わかばケアセンター  
伊興  
菅谷 さとえさん



食事づくりや掃除、入浴や着替え、排せつなど、安心して暮らせるよう、身の回りの支援を行います。

## 訪問看護師

あけぼの訪問看護  
ステーションあだち  
小川 朝恵さん



自宅等で点滴や傷の手当などの医療的処置、健康状態のチェック、療養上のアドバイスなどを行います。

## 薬剤師

あだち薬剤師会  
薬局  
荻澤 晴美さん



処方された薬を届け、飲み方の説明や効果のチェック、残っている薬の確認などを行います。

## ケアマネジャー

介護相談処  
みのり  
内山 ちあきさん



本人や家族と相談しながらサービスの提案、各専門職との調整、ケアプランの作成などを行います。

今回撮影にご協力いただいた  
皆様に、在宅療養に携わる想いを  
語っていただきました。  
区のホームページをチェック!!



## 令和8年度在宅療養普及啓発紙の発行（案）について

### 1 発行について

#### (1) 目的と対象

在宅療養が気になっているご本人やその家族（50代～80代を想定）の方に在宅療養を知っていただき、選択肢に加えてもらう。

#### (2) 発行回数

年1回

#### (3) 発行までのスケジュール

- ① 令和8年4月（第1回在宅療養推進協議会）  
⇒ テーマの決定、プロジェクトチーム選出
- ② 令和8年8月（第2回在宅療養推進協議会）  
⇒ 紙面構成、配布数の決定
- ③ 令和8年11月（第3回在宅療養推進協議会）  
⇒ 完成イメージ共有
- ④ 令和9年1月  
⇒ 普及啓発紙発行

### 2 テーマについて

令和8年度第1回在宅療養推進協議会にて決定予定

#### (1) 参考（令和7年度にいただいたご意見）

- ① 個別ケースを想定した具体的なケアプラン紹介
  - ・ 具体的なサービスの種類や利用時期など、ADL等の段階別に例示する。
  - ・ 金額の目安（減額制度の紹介等）
  - ・ 自宅でどこまで過ごせるか各パターンを紹介  
(例) 看取りまで自宅・施設入所・ホスピス 等
- ② 看取りについて
  - ・ 自宅での看取りに向けた各職種の間わり方
  - ・ 看取りに関わる制度（区での取り組み）紹介
- ③ 最新の在宅療養トピックス
  - ・ 令和8年度から9年度に向けた介護保険制度の動き
  - ・ 在宅療養推進協議会の連携事例紹介

## 令和8年度 在宅療養区民啓発講座の開催（案）について

### 1 令和8年度在宅療養講座の実施について

区民に「療養現場の実際」や「終活（意思決定支援）について」を伝え、在宅療養に関する理解を深める。

### 2 開催概要

#### (1) 講座内容

- ア 在宅療養総論について（医師より）
- イ 終活(意思決定支援)について  
じぶんノートの活用（外部講師又はハウカツに依頼）

#### (2) 開催内容

	第1回	第2回
日時	令和8年9月 午後2時～午後4時	令和9年2月 午後2時～午後4時
場所	ギャラクシティ 2階多目的室	すこやかプラザ あだち 大研修室
定員	各回100名（先着順）	
講師	未定	

#### (3) 申込方法

電話、FAX、足立区オンライン申請システムにて受付

#### (4) 周知方法

- ア あだち広報に掲載予定
- イ 区内公共施設、地域包括支援センター、区内医療介護機関等へチラシ配付、HP、SNSなど

# 【医療介護連携ネットワークについて】

## 1 ホウカツ圏域での医療介護ネットワークについて

医療介護に関する研修・交流会などを各ホウカツが開催



医療介護  
双方の関係者  
が参加

### 令和7年度

20以上のホウカツが開催

- ・ 多職種連携交流会
- ・ 訪問診療医による研修
- ・ MCS操作研修

拡充

### 令和8年度

全25ホウカツが  
年1回以上開催

医療介護専門職

連携

ホウカツ

協力

- 講師の派遣
- 研修・交流会への参加
- 専門職への周知

など

在宅療養支援  
コーディネーターがお手伝い



件名	介護の新たな担い手確保に向けたセミナーの開催について						
内 容	<p><b>1 目的</b> 介護現場で深刻化する人材不足に対応するため、新たな担い手として期待される「外国人人材」「スポットワーカー」について、制度や仕組み、導入の流れなど基礎的な内容を区内介護事業所に理解していただく。</p>						
	<p><b>2 対象</b> 区内介護事業者（介護施設、訪問介護、訪問看護、デイサービス等）</p>						
	<p><b>3 時期・内容・講師等</b> 【外国人】</p>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="403 667 614 728">日にち</th> <th data-bbox="614 667 1125 728">内容</th> <th data-bbox="1125 667 1444 728">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="403 728 614 925">令和 8 年 2 月 1 7 日 (火)</td> <td data-bbox="614 728 1125 925">① 外国人採用の全体像 ② 制度別の採用 ③ 外国人従事者採用好事例紹介 ④ 外国人採用関連の補助金紹介</td> <td data-bbox="1125 728 1444 925">かいごパスポート Tokyo 運営事務局 (※1)</td> </tr> </tbody> </table>	日にち	内容	講師	令和 8 年 2 月 1 7 日 (火)	① 外国人採用の全体像 ② 制度別の採用 ③ 外国人従事者採用好事例紹介 ④ 外国人採用関連の補助金紹介	かいごパスポート Tokyo 運営事務局 (※1)
	日にち	内容	講師				
	令和 8 年 2 月 1 7 日 (火)	① 外国人採用の全体像 ② 制度別の採用 ③ 外国人従事者採用好事例紹介 ④ 外国人採用関連の補助金紹介	かいごパスポート Tokyo 運営事務局 (※1)				
	<p>※1 外国人向け求人サイトの運営など、都内介護事業所と外国人人材とのマッチングの取り組みを支援する事業</p>						
	<p>【スポットワーク(※2)】</p>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="403 1070 614 1131">日にち</th> <th data-bbox="614 1070 1125 1131">内容</th> <th data-bbox="1125 1070 1444 1131">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="403 1131 614 1283">令和 8 年 2 月 5 日 (木)</td> <td data-bbox="614 1131 1125 1283">① スポットワークの全体像 ② 導入方法・活用事例紹介 ③ 活用事例紹介</td> <td data-bbox="1125 1131 1444 1283">一般社団法人 スポットワーク協会</td> </tr> </tbody> </table>	日にち	内容	講師	令和 8 年 2 月 5 日 (木)	① スポットワークの全体像 ② 導入方法・活用事例紹介 ③ 活用事例紹介	一般社団法人 スポットワーク協会
	日にち	内容	講師				
令和 8 年 2 月 5 日 (木)	① スポットワークの全体像 ② 導入方法・活用事例紹介 ③ 活用事例紹介	一般社団法人 スポットワーク協会					
<p>※2 数時間から数日程度の短期間・単発で事業者と雇用契約を結んで働く形態</p>							
<p><b>4 時間</b> 午後 2 時から午後 4 時（2 時間）</p>							
<p><b>5 場所</b> すこやかプラザ あだち 3 階大研修室（足立区江北 5-14-5）</p>							
<p><b>6 定員</b> 100 名程度 ※ 対面と同時にWEB 配信を行う</p>							
<p><b>7 周知方法</b> 区内全事業所あてにメールで案内を送付するとともに、事業者との会合等でも情報提供する。</p>							
<p><b>8 今後の予定</b> (1) 令和 8 年度も当セミナーを継続する（年 2 回程度実施予定）。 (2) 参加事業者を対象に課題等を伺うアンケートを実施し、セミナーの内容充実及び新たな担い手確保に向けた施策検討に活用していく。</p>							

7 足福連発第●●●●号  
令和 8 年 3 月 ● 日

足立区医療介護連携課長  
徳井 傑

令和 8 年度 足立区多職種連携研修会に係る世話人の選出について（依頼）

日頃から、足立区福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、令和 8 年度足立区多職種連携研修会に係る世話人会を、ブロックごとに開催させていただく予定です。

つきましては、貴団体から各ブロック世話人のご選出を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

1 世話人の選出について

各ブロック世話人を○名ずつ選出いただき、別紙調査書に必要事項をご記入のうえ、メール、FAX または MCS でご提出ください。

2 回答期限

令和 8 年 3 月 3 1 日（火）

※期日を過ぎる場合には、別途ご相談ください。

3 報償

謝礼として 1 日当たり 1, 5 0 0 円（源泉所得税 3. 063%を含む）をお支払いいたします。

4 その他

- (1) 会議は年間 3 回程度の開催を予定しております。
- (2) 会議の所要時間は、1 回あたり 1 時間程度を予定しております。
- (3) 報酬支出の関係で、後日改めてマイナンバーカードに関する書類の提出をお願いする予定です。
- (4) メディカルケアステーションのグループ登録変更につきましては、4 月 1 日以降に順次、世話人グループへの登録・削除作業をさせていただきます。

5 担当

足立区 福祉部 高齢者施策推進室 医療介護連携課 医療介護連携推進係 河井、渡邊  
足立区江北 5-14-5 医療と介護の連携・研修センター  
電話 03-6807-1219（直通）  
FAX 03-3899-1355

以上